

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	35170
事業名	障がい者相談支援費					
評価担当課	所 属	保)障がい保健 障がい福祉課			電話番号	211-2936
施策名	多様なニーズに応じた住まいが確保されているとともに、在宅医療					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ○ 一部委託 ● 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景（現在の状況、社会的課題）	当事業は平成18年度に事業開始し、相談支援のニーズの多様化、制度の複雑化に対応する体制を構築するため、事業所数や相談員の拡充を行ってきた。 障害福祉サービスの制度の複雑化や相談支援ニーズの多様化に対応するため、地域の障害福祉サービス事業所や関係機関と連携し、障がいのある方が安心して暮らせる体制を構築し、課題を解決するための中核的な役割を果たすことが期待されている。また、医療的ケア児に対する相談支援ニーズの高まっているほか、ヤングケアラー問題、8050問題、孤独・孤立などさまざまな社会問題が顕在化、深刻化しており、こうした問題の背景には精神疾患や発達障がいなどの障がいが原因である場合も多く、障がい者相談支援事業所の役割はこれまで以上に重要になってきている。
	事業内容（何を実施し）	①障がい者相談支援事業：19か所に委託。内1か所は相談支援事業所の後方支援等を行う基幹相談支援センター。このほか別予算で指定管理施設が1か所。あらゆる相談に応じ、障がい者のサービス調整や関係機関との連携、地域づくり等のほか、単身障がい者の住宅入居、入居後の定着支援を行う。【政策枠内】 ※①の消費税のみ【政策枠外】 ②障がい者あんしん相談運営事業：札幌市社会福祉協議会に委託。権利擁護に関する相談支援の充実を図る。【政策枠内】
	どのような状態にしたい（状態を維持したい）	相談件数の増加や複雑化に対応し、障がいのある方が地域で安心して生活できるよう、各事業所の相談員等の増員、経験豊富で国家資格を保有している相談員の確保・定着、地域支援員の支援強化等を図る。
	他都市の状況	市町村の必須事業であり、他都市でも実施している。またすべての政令指定都市で委託しており、実施にあたっては、各都市の実情にあわせて多様な形態となっている。
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外

令和4年度決算額	492,527 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和5年度予算額	513,724 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和5年度決算額	551,057 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工
令和6年度予算額	583,000 千円	うち特定財源	0 千円	正規職員業務量	0.2 人工

指標	アウトプット活動指標1	基幹相談支援センターを除く障がい者相談支援事業所の総相				という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		155,862件	155,862件	157,721件	156,715件	157,568件	158,421件
	↓						
	アウトカム成果指標1	相談者の課題解決件数				という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		-	4,740件	1,824件	4,980件	5,400件	5,520件
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	相談員の増員は計画どおり進めており、課題解決件数について順次増加が見込まれる					
	アウトプット活動指標2					という活動、業務を行うことで	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2					という状態にしたい、成果を挙げたい	
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方						

今年度の見直し内容	
来年度以降の方向性	